

令和5年度野尻湖から関川等へのオオクチバス等 逸出確認調査結果（第3回）について

長野県内水面漁場管理委員会 事務局

1 目的

逸出防止措置が施されている野尻湖から池尻川、農業用水路及び関川へオオクチバス、コクチバスが逸出していないか確認する。

2 調査日

第3回 令和5年11月2日（木） 調査地点：A～H

3 調査地点（図参照）

地点	水系	水域の詳細	備考
A	池尻川	逸出防止装置施設 下流	
B	御小屋用水	同上	野尻土地改良区 所管
C	小丸山用水	同上	同上
D	池尻川	赤川合流点 上流約100m	北信漁協 管内
E	池尻川	関川合流点 上流	北信漁協 管内
F	関川	池尻川合流点 付近	関川水系漁協管内
G	関川	国道18号の橋 付近	関川水系漁協管内
H	関川	池尻川発電所調整池からの流出水合流点	関川水系漁協管内

4 調査方法

採捕には電気ショッカーを用いた。パルス、電圧は調査水域の状況によって適宜調整し、特に稚魚の採捕に留意して調査を行った。

5 調査機関

地点A～Cの調査は、北信漁業協同組合1名及び野尻湖漁業協同組合1名の立ち会い、地点D及びEの調査は北信漁業協同組合1名の立ち会いのもと、長野県水産試験場3名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局（長野県農政部園芸畜産課水産係；以下、事務局という。）1名で行った。

地点F～Hの調査は、関川水系漁業協同組合3名の立ち会いのもと、長野県水産試験場と事務局については地点A～Eと同様の調査人数で実施した。

※事前に新潟県水産課及び新潟県内水面水産試験場に調査への参加を打診していたが、本年度10月下旬～11月上旬は、業務多忙により不参加としたい旨、申出があった。そのため、今回は新潟県不在のもと調査を実施した。

6 採捕状況

○第1回

地点	水系	監視場所	魚種	個体数	全長範囲 (cm)	備考
A	池尻川	1		採捕個体なし		
		2	ヨシノボリ	2	4.1~4.5	
		3	コイ	19	4.9~17.0	
			フナ	10	6.0~9.5	
			モツゴ	4	4.5~7.6	
			アブラハヤ	2	5.2~5.5	
B	御小屋用水	1		水なし(写真1)		
		2				
		3				
C	小丸山用水	1		水なし(写真2)		
		2				
		3				
D	池尻川	-	コイ	14	4.3~14.3	
			アブラハヤ	3	5.1~7.6	
			シマドジョウ	2	8.8~10.6	
			ウグイ	1	18.6	
			モツゴ	1	8.0	
			ヨシノボリ	1	4.4	
E	池尻川	-	ヤマメ	4	10.5~14.9	
			イワナ	4	8.4~27.2	
F	関川	-	ヤマメ	22	10.6~21.0	
			イワナ	16	7.5~21.0	
			アブラハヤ	5	5.6~11.5	
			ヨシノボリ	1	4.8	
G	関川	-	ヤマメ	3	14.8~18.6	
			イワナ	22	10.8~42.5	
			アブラハヤ	2	5.2~7.9	
H	関川	-		採捕個体なし		

7 調査結果のまとめ

今回の調査では、全ての調査地点の逸出防止装置の外および装置の間においてオオクチバス、コクチバスは採捕されず、これらの逸出は確認できなかった。

なお、池尻川の装置1（最も野尻湖に近い装置）の内側でコクチバス（全長10.8cm；写真3）1尾を捕獲・駆除した。装置が機能した結果、装置外へ逃げ出さなかったものと思われる。



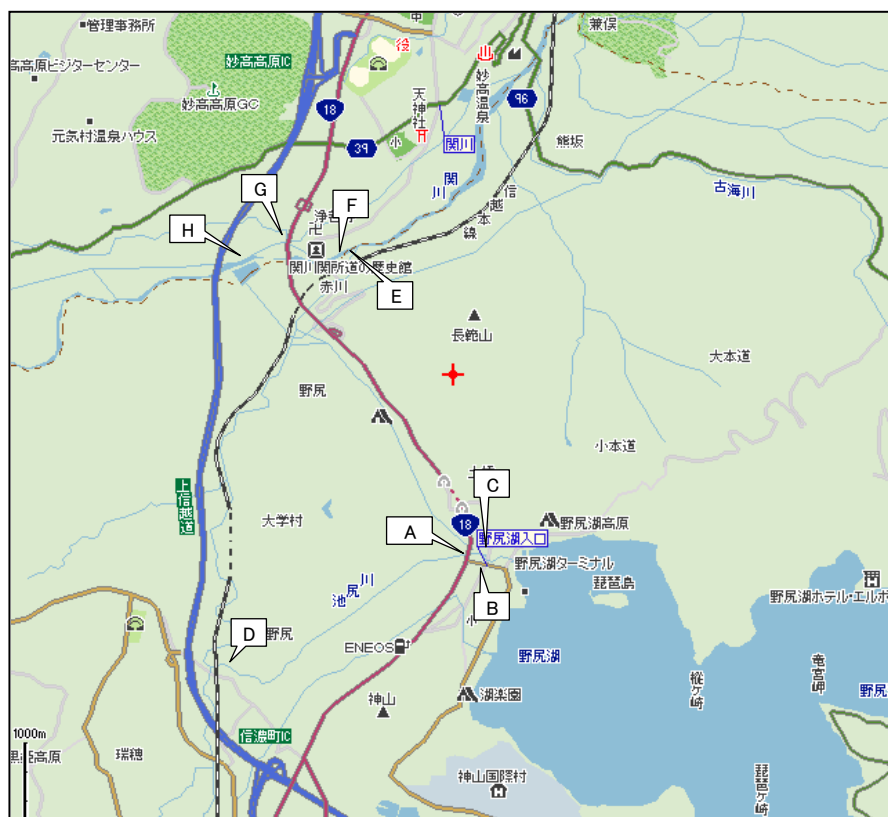
写真1 調査当日の御小屋用水路



写真2 調査当日の小丸山用水路



写真3 池尻川の装置1内側で捕獲されたコクチバス（全長 10.8cm）



【図 調査地点】

逸出防止施設等の概要

